

授業改善推進プラン(学力調査等分析) **国語**〔中学校第2～3学年〕

東大和市立第四中学校

学年等		項目	内容
平成30年度 第2学年	平成30年10月	学習に関する生徒の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「言語」の正答率が都に比べ5.2ポイント低く、語彙や漢字に課題があることが分かる。「読む」の正答率が都に比べ5.5ポイント低いことも、語彙や漢字の力不足が内容的確に理解できないことに関係していると考えられる。 ・取り出す力に関する結果が、都に比べマイナス5.3ポイントと最も差が大きかった。文章の構成や表現に即して読み、広い範囲から情報を抽出して活用する力に課題がある。
		具体的な授業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字のテストを今後も継続する。家庭学習を充実させ、しっかり漢字練習をして漢字テストに向かう習慣をつける。目標点に達しなかった生徒に対しては補習を行う。今後も朝読書の充実や読書活動の推進を継続して行い、生徒の語彙を増やすことに役立てる。 ・他の生徒と考えを交流する対話的な学習や、教え合いをしたりする学習を取り入れ、必要な情報や考えを取り入れ、自分の考えを広げたり深めたりする技能の習得を目指す。
	年度末	今年度の評価と次年度に向けての取組の方向性	
平成31年度 第3学年	平成31年10月	学習に関する生徒の課題	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	今年度の評価と次年度に向けての取組の方向性	